

## 安全衛生、労災削減

### 安全衛生教育の体系化を推進、再構築しています

安全衛生教育とは、従業員が労災に遭わないように、仕事の中にどのような危険があるかを理解するため、また安全確保の行動をとるために、「教育」や「訓練」を行うことです。現在、各事業所の安全衛生担当者が連携して教育の再構築を行っています。

各事業所で行っている教育を集約して、全従業員が知っておくべきことと、それぞれの業務に必要なことに分類し教育体系の整備を行っています。そして、より効果的な教育になるように内容を見直し、教育内容の充実と労災リスクに応じた専門教育の強化を図っていきます。

また、「挟まれ」「巻き込まれ」「感電」などの労災を模擬的に体験する安全体感教育の導入も進めています。これにより従業員一人ひとりの安全への感受性アップを図りたいと考えています。



写真左より  
株式会社村田製作所 八日市事業所 管理部 事務課 原田 隆之/佐々木 賢市  
株式会社村田製作所 環境・安全部 環境安全推進課 前 昌孝

ムラタでは、労災発生防止のために、設備改善などハード的な取り組みと、安全衛生に関する教育や啓蒙活動などソフト的な取り組みをあわせて実施しています。ムラタの労災発生率※は、製造業平均に比べて低い値ですが、さらに低くなるように取り組みを継続していきます。

※100万延実労働時間あたりの労働災害による死傷者数



## 地球温暖化防止

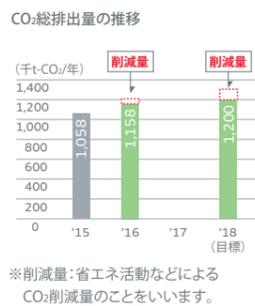
### 組織力を発揮した省エネ活動で温暖化防止に貢献する

タイの北部、チェンマイにはASEANで2番目に設立されたMurata Electronics (Thailand), Ltd. (以下タイムラタ)があります。経済成長著しいタイではエネルギー消費量が年々増加していますが、国のエネルギー政策によって、10年間でのエネルギー効率40%近く改善しており、タイムラタでも同様に積極的な省エネ活動を行っています。LED照明などの高効率機器の導入や、空調機の効率を向上させるための運用改善に取り組み、組織横断的な省エネ推進体制で効率的に展開することによって削減できたCO<sub>2</sub>の量は880t。これはタイムラタで排出しているCO<sub>2</sub>の2.5%に相当します。今後もタイで事業を行う企業として社会的責任を積極的に果たすとともに、グローバルに活動拠点を持つムラタグループ全体に対して良い刺激を与えるよう継続して努力していきます。



写真左より  
Murata Electronics (Thailand), Ltd. Production engineering Dept. Maintenance engineering Sec. Phisit Rataphai  
Administration Dept. Environmental control Sec. Pongpat Sonpan, Thawatchai Jaimoon  
Production Dept. Production engineering Sec. Wirat Jankan

ムラタでは、事業活動で排出される温室効果ガスの総量削減に向けて温暖化防止方針を掲げています。目標達成のため、温暖化防止委員会を中心にムラタグループ全体で活動を行っています。



## 省資源、廃棄物

### 災害時に備えて複数の廃棄物処理ルートを確認

ムラタでは、生産活動にともなって発生する廃棄物は、廃棄物処理業者に委託し、リサイクル処理を行っています。万が一、地震や洪水などの災害により処理施設に被害が出た場合、ムラタから廃棄物を排出することができなくなり、保管場所がなくなれば結果としてムラタの生産活動を止めなければなりません。

このリスクを回避するために、ムラタのすべての工場において他の処理ルートを複数確保し、生産活動に影響が出ないようにしています。このように、廃棄物処理は不要なものを処理するだけでなく、モノづくりを支える重要なパートを担っています。私たちは、業者の皆様としっかり連携しながら、その役割を果たしていきます。



写真左より  
株式会社出雲村田製作所 管理部 環境課 糸原 進/平野 友博  
株式会社岡山村田製作所 管理部 環境課 久保 毅幸

ムラタでは、廃棄物の発生量削減に取り組んでいます。より安定確実に廃棄物を処理するため、廃棄物管理体制の強化を目指します。



## 水の削減

### 「水リスク」を意識し、水資源の有効利用を徹底

水は我々が生活するうえで欠かせない資源ですが、工場の生産活動においても同様です。

しかし、気候変動や人口増加などの影響で水不足や水質汚染の問題が深刻化し、世界中で「水リスク」への関心が高まっています。

富山村田製作所では、水資源の有効利用を徹底するために、冷却水の系統を見直すことによって再利用率を上げて、水が持つ温度を最大限に有効活用する取り組みを行いました。この取り組みによって削減できる水の量は、年間60,000 tにも及び、工場全体の約3%に相当します。

富山村田製作所は、日本の中でも特に水環境に恵まれた場所に位置する工場ですが、だからこそ、水資源の保護を徹底した取り組みを今後も推進していきます。



写真左より  
株式会社富山村田製作所 管理部 環境課 加藤 尚人/山田 聖史/久保 真

ムラタでは事業活動で使用する水資源の削減、有効利用を推進しております。ムラタグループ内で情報の共有を図りながら各事業所で活動を行っています。

